

第 4 期
事業報告

自 2016(平成 28)年 4 月 1 日
至 2017(平成 29)年 3 月 31 日

公益財団法人

市川房枝記念会女性と政治センター

=目次=

1. 法人運営に関する事項	1
2. 公益・収益事業の概要	2
I. 政治教育・人材養成事業（公益一）	3
II. 情報収集・保存・提供・発信事業（公益二）	5
III. 出版及び調査・研究事業（公益三）	6
IV. 国内外組織連携及び支援事業（公益四）	7
V. 収益事業（収益一）	8
VI. その他本財団の目的を達成するために必要な事業	8

1. 法人運営に関する事項

- 役員 2017年3月31日現在の役員 理事12名、監事1名
 理事長 山口みつ子 常務理事 久保公子(事務局長兼)・日高みさお
 理事 阿南 久・五十嵐暁郎・市川ミサオ・鹿嶋 敬・金子良江・国広陽子・進藤久美子・
 角田由紀子・藤原房子
 監事 住田啓子
- 評議員 2017年3月31日現在の評議員 11名
 上野スズ子・枝松 栄・大山七穂・隈部紀生・栗林和子・鈴木那智子・松本惟子・
 三浦まり・村越まり子・毛利亮子・山口美代子

理事会

開催日/場所	審議・報告事項	審議結果
2016.6.14 /婦選会館	認定事項 1) 2015(平成27)年度事業報告の件 2) 2015(平成27)年度収支決算の件 3) 監査報告の件 審議事項 1) 2016(平成28)年度第1回評議員会開催の件	承認 承認 承認 承認
2016.11.1 /婦選会館	報告事項 1) 2016(平成28)年度理事長及び常務理事の職務執行状況報告の件 2) 2016(平成28)年度第34回市川房枝女性の政治参画基金助成対象の件 審議事項 1) 市川房枝女性の政治参画基金選考委員会規程の件	承認 承認 承認
2017.3.10 /婦選会館	審議事項 1) 2017(平成29)年度事業計画案決議の件 2) 2017(平成29)年度収支予算案決議の件 3) 2017(平成29)年度市川房枝女性の政治参画基金選考委員承認の件	承認 承認 承認

評議員会

開催日/場所	審議・報告事項	審議結果
2016.6.14 /婦選会館	報告事項 1) 2015(平成27)年度事業報告承認の件 審議事項 1) 2015(平成27)年度収支決算承認の件 2) 監査報告	承認 承認 承認
2017.2.24 /婦選会館	審議事項 1) 次期役員等(理事・監事・評議員)選任(予選)について	承認
2017.3.29 /婦選会館	審議事項 1) 2017(平成29)年度事業計画案承認の件 2) 2017(平成29)年度収支予算案承認議の件 3) 2017(平成29)年度市川房枝女性の政治参画基金選考委員報告の件	承認 承認 了承

役員等選出委員会

開催日／場所	審議事項	審議結果
2017. 2. 24 ／婦選会館	審議事項 1) 次期役員等（理事・監事・評議員）選任（予選）について	了承

理事懇談会

開催日／場所	懇談事項	審議結果
2016. 11. 1 ／婦選会館	懇談事項 1) 2017（平成 29）年度事業企画案作成の段取りについて 2) 2017（平成 29）年度理事・監事・評議員改選の段取りについて	了承 了承
2017. 2. 22 ／婦選会館	検討事項 1) 2017（平成 29）年度事業計画案の件 2) 2017（平成 29）年度収支予算案の件 3) 次期役員等選出委員会に提案する役員等推薦候補（予選）の件	了承 了承 了承

女性参政 70 周年記念事業委員会

開催日／場所	事項
2016. 5. 23 ／婦選会館	「18 歳からの選挙権」記者発表
2016. 7. 4 ／婦選会館	記念事業委員会反省会

2. 公益・収益事業の概要

公益事業一（政治教育・人材養成）は、創立者市川房枝の理念を基に、女性有権者の政治教育や女性地方議員の政策研修を主たる事業とし、2010 年度からは市民、特に女性のガバナンス意識を啓発する新企画を加えてきた。女性参政 70 周年記念事業（2015-16 年度）の 2 年目としては、憲政記念館でのシンポジウムや、18 歳選挙権をテーマに若者対象のプログラム、そして関西の女性たちと協力して女性地方議員増加のためのプログラムに傾注した。また約 30 年ぶりに韓国へのスタディーツアーを行い、女性たちとの交流を深めた。

公益事業二（情報収集・保存・提供・発信）は、女性参政関係史資料のライブラリー・アーカイブズを中心に、史資料の整理と公開、出版社などへのデータ提供を行った。史資料の現物は通常は貸し出さないが、衆議院憲政記念館の特別展「普通選挙をめざして—犬養毅・尾崎行雄—」には出展協力を行った。市川房枝記念展示室の見学者ノートには、展示物や DVD の映像・音声から市川に触れた感動など、率直な感想が綴られている。

公益事業三（出版及び調査・研究）は、隔月刊誌『女性展望』のほか、『市川房枝の言説と活動 III』『全国組織女性団体名簿 2016 年版』と、韓国スタディーツアーの報告書を発行した。調査・研究としては、2005 年発足の市川房枝研究会が前記の通り 3 冊目を編集し、市川房枝の生涯年表を完成させた。

公益事業四（国内外組織連携及び支援）は、女性団体への事務所賃貸や事務所機能の支援、新年恒例の各界女性新年交歓会のほか、市川房枝女性の政治参画基金の助成を行った。また国内外の個人やメディア、組織などとの連携にも協力した。

収益事業は、従来通り建物の賃貸事業、時間貸室を行い、コミュニティバザーには近隣住民はじめ女性団体や講座生などが来場し、交流を図った。市川房枝のメッセージ入りのグッズは来館者や地方でのイベントの折に記念として喜ばれている。

その他事業は、当財団の財政的支援者である維持員への報告（事業・財政）や交流を中心とした事業を行っている。

I. 政治教育・人材養成事業（公益一 女性が民主的ガバナンスの積極的な担い手となり、平和で平等な市民主体の社会の実現を目指すための政治教育・人材養成事業）*特記以外、会場婦連会館

○現職の女性地方議員の政策研修、政治家を志す女性の養成などのプログラム

1. 政治参画フォーラム 2016「教育が危ない！現場の課題を問う」（2016. 5. 20-21 参加者 43 人）
基調講演「教育現場の憲法問題」木村草太・首都大学東京教授／講演「特別支援教育と共生社会～幸せに生きる力～」安部博志・筑波大学附属大塚特別支援学校地域支援部長／講演「日本の政治教育の発展のために—ドイツ/オーストリア・モデルの可能性—」近藤孝弘・早稲田大学教授／講演「『道徳の教科化』で子どもたちはどうなるか～現政権の『教育再生』政策を問う～」俵 義文・子どもと教科書全国ネット 21 事務局長
2. 政治参画フォーラム 2016「揺らぐ日本の社会保障制度」（2016. 10. 28-29 36 人）
基調講演「格差社会と民主主義」湯浅 誠・法政大学教授／講演「今後の介護保険法改正と総合事業のゆくえを探る」結城康博・淑徳大学教授／講演「災害と自治体の役割」相川康子・特定非営利活動法人 NPO 政策研究所専務理事／事例発表「武蔵野市における地域包括ケアと新総合事業の取り組み」笹井 肇・東京都武蔵野市健康福祉部長
3. 政治参画フォーラム 2016「2017 日本経済と地方財政—自治・分権時代の自治体議会・議員の役割—」（2017. 1. 27-28 44 人）
カレントトピックス「憲法公布 70 年と立憲主義—憲法審査会の動向をふまえて」伊藤 真・弁護士・伊藤塾塾長／講演「会計検査院の役割と決算検査報告」小林麻理・会計検査院検査官／基調講演「アベノミクスの破綻」藤原作弥・元日銀副総裁／講演「2017 年度国の予算と自治体財政（速報・視点・課題）」菅原敏夫・公益財団法人地方自治総合研究所嘱託研究員
4. 脱原発 1 日セミナー「いのちを育み、暮らし続けられる社会をめざして」（2016. 8. 5 57 人〈別室中継 12 人含む〉）
基調講演「3. 11 から 5 年—なぜ日本は逆戻りをしているのか」小出裕章・元京都大学原子炉実験所助教／シンポジウム「避難か帰還か、原発事故避難者の現実と課題」熊本美彌子・福島原発被害者東京訴訟原告／古川好子・原発避難者／へびいし郁子・郡山市議会議員（以上パネリスト）／澤井正子・原子力資料情報室スタッフ（コーディネーター）
5. 明るく正しい選挙実践のための選挙相談コーナー開設準備

○議員、行政職員、研究者、ジャーナリスト、NGO 他、一般市民などを対象とした、国際社会で共有されているジェンダー視点から政策を点検・作成するためのツールの学習や政策づくり・評価のためのプログラム

1. ジェンダー平等サロン 2016
 - ①「逆風が吹いたとき ジェンダー・バッシングわたしの体験」（2016. 6. 28 参加者 27 人）
藤原房子（ジャーナリスト）
 - ②「自治体で経験した男女平等バックラッシュから何を学んだか」（2016. 10. 18 21 人）
金子良江（元東京都福祉局女性相談センター所長）

○国の予算案を基に男女共同参画政策の実効性をモニターし分析するためのプログラム

1. 国の第 4 次男女共同参画基本計画と 2017 年度予算案について聞く会（2017. 2. 23 参加者 42 人〈資料のみ 4 人含む〉）
内閣府・外務省・文部科学省・経済産業省・厚生労働省・農林水産省の 6 府省担当官説明。
日本婦人有権者同盟解散につき、本年度より当財団の単独主催事業。

○その他緊急課題等に関するセミナー等

1. 2016 女性史セミナー「女性たちの反核の実践と思想—ビキニ・原水禁運動・反原発—」(企画協力=総合女性史学会)

- ①「被ばくと男性—ビキニ被爆者・大石又七の軌跡」石崎昇子・専修大学非常勤講師 2016. 11. 8 参加者 9人)
- ②「原水爆禁止運動から反原発へ—高度経済成長期の『主婦連合会』の動きにみる—」山村淑子・近現代女性史研究者 (2016. 12. 8 15人)
- ③「いのちとくらしとふるさとを守る—鳥取県青谷原発阻止運動を担った地域婦人会—」金子幸子・元名古屋短期大学教授 (2017. 1. 17 10人)
- ④「いのちの未来に原発はいらない—能登半島の反原発運動と女性 (志賀・珠洲)」海保洋子・近現代女性史研究者 (2017. 2. 16 16人)
- ⑤「自分たちの町のことは自分たちが決める—巻原発反対運動と女性—」早川紀代・近現代女性史研究者 (2017. 3. 16 12人)

2. 連続講座「日本社会を考える」

- ①「政治とカネ—金権政治脱却への処方箋」岩井奉信・日本大学教授 (2016. 4. 9 参加者 20人)
- ②「気候変動と私たちの生活」浅岡美恵・気候ネットワーク代表 (2016. 5. 14 19人)
- ③「『平和国家』の誕生—戦後日本の原点」和田春樹・東京大学名誉教授 (2016. 6. 11 20人)
- ④「日本農業の今までとこれから」榊田みどり・農業ジャーナリスト (2016. 7. 9 21人)
- ⑤「放送の公共性とは何か—敗戦後の放送史から考える—」大森淳郎・NHK 仙台放送局シニアディレクター (2016. 8. 20 22人)
- ⑥「アフガン・対テロ戦争とタリバンの復活」多谷千香子・法政大学教授 (2016. 9. 10 25人)
- ⑦「家族の法的責任—JR 東海認知症事故最高裁判例について考える」住田裕子・弁護士 (2016. 10. 8 29人)
- ⑧「731 細菌戦部隊・戦争責任・『責任の歴史学』を考える」松村高夫・慶應義塾大学名誉教授 (2016. 11. 19 24人)
- ⑨「新潟知事選と脱原発へのポリティクス」五十嵐暁郎・立教大学名誉教授 (2016. 12. 10 20人)
- ⑩「医療を変える・福祉を変える～想像力と度胸で」大熊由紀子・国際医療福祉大学大学院教授 (2017. 1. 14 21人)
- ⑪「ハンセン病問題から何を学ぶか」鮎京真知子・弁護士 (2017. 2. 18 18人)
- ⑫「性暴力に日本社会はどう向き合ってきたか」角田由紀子・弁護士 (2017. 3. 11 29人)

3. 女性参政 70 周年記念事業

- ①シンポジウム「女性は政治を変えられるか」憲政記念館 (2016. 4. 18 参加者 407人)
基調講演「政治を担う女性たちよ、荒野で叫ぶ声たるべし」浜 矩子・同志社大学大学院教授／シンポジウム「女性は政治を変えられるか」小池百合子・衆院・自民、辻元清美・衆院・民進、高木美智代・衆院・公明、畑野君枝・衆院・共産、福島みずほ・参院・社民、糸数慶子・参院・無所属、堂本暁子 (コーディネーター)／DVD「婦選の話」「初の女性代議士たち」上映／「女性参政権の歩み展」／女性国会議員アンケート／政党アンケート
- ②シンポジウム「18 歳からの選挙権—高校生が討論する『主権者になるということ』」(2016. 6. 18-19 参加者 20人 無料)
オリエンテーション／フィールドワーク (ホームレス、ヘイトスピーチ (新宿)) 佐野未来・ビッグイシュー東京事務所長、鈴木靖・新宿区多文化共生推進課長ほか／「18 歳からの選挙権 アンケートを読み込む」「私にとっての政治課題」「主権者になるということ—私にとっての選挙権・投票」瀧菜奈美・北海道旭川明成高校 3年、赤井澤朋美・宮城県仙台城南高校 3年、大塚莉耶・東京都桜丘高校 2年、上原晴美・沖縄県沖縄尚学高校 3年／協力:五十嵐暁郎・立教大学名誉教授、荻村哲朗・神奈川大学非常勤講師／インターネット中継
- ③記念事業 in 関西 2016 「なんでやねん! 70 年経ってもまだこれか 女性の政治参画を増や

すために」大阪府立男女共同参画青少年センター（2016. 11. 5-6 87人）

基調講演「なんでやねん！ 70年経ってもまだこれか 女性の政治参画を増やすために」嘉田由紀子・前滋賀県知事／パネルディスカッション「70年目の女性と政治」越 直美・滋賀県大津市長、武井多佳子・愛媛県松山市議、のじまさとこ・SADL、森屋裕子・NPO フィフティ・ネット（コーディネーター）／分科会①「実践に役立つ勝つ選挙・勝てる選挙を組み立てる」酒井孝江・奈良市議、塩見牧子・奈良県生駒市議、中西レオ・兵庫県明石市議、木下康子・前兵庫県明石市議（コーディネーター）／分科会②「『私』が政治とつながる瞬間（とき）声をあげること、これまでとこれから」片岡慶子・NPO 法人代表、對島香莉・同志社大学大学院生、松本澄子・障がい児者の親の会、元橋利恵・大阪大学大学院生、荒木菜穂・日本女性学研究会（コーディネーター）／分科会③「オッサン政治の中で生きる～女性議員の本音トーク～」竹内友江・兵庫県赤穂市議、寺本早苗・同宝塚市議、平野かおる・大阪府島本町議、今里朱美・兵庫県姫路市議（コーディネーター）

4. 出前でトーク こんにちは市川房枝です in 一宮（2017. 3. 18 参加者 40人 無料）

トーク：浅野美和子・女性史研究者、伊藤康子・元中京女子大学教授、岩本美砂子・三重大学教授、神永れい子・女性首長を実現する会 愛知、神田年浩・一宮市博物館、佐藤ゆかり・三重の女性史研究会、鈴木規子・愛知県西尾市議、田内雅弘・萩原町郷土史研究会／パネル展

5. 韓国スタディツアー「女性の政治参画と韓国社会・人権を学ぶ」（ジェンダー政治研究所ヨセヨン共催 韓日女性議員交流プログラム）（2016. 7. 25-30 参加者は女性地方議員ら20人）

女性国会議員・女性地方議員との交流、ソウル市NPO支援センター・戦争と女性の人権博物館（ソウル市）、独立記念館（天安市）、5・18民主化運動記録館（光州市）、国立ソロクトハンセン病博物館（小鹿島）、民主抗争記念館・朝鮮通信使歴史館（釜山市）

（事前学習会「『慰安婦』問題の今日的状況」和田春樹・東京大学名誉教授、「光州民主化闘争と現代韓国」李泳采・恵泉女学園大学准教授、「植民地支配の清算」内海愛子・同名教授）

II. 情報収集・保存・提供・発信事業（公益二 女性が民主的ガバナンスの積極的な担い手となるための情報収集・保存・提供・発信事業）

○ライブラリー・アーカイブズ

1. 婦人参政関係史資料・市川房枝戦後史資料の整理・保存・公開・データベース化（閲覧サービス 42人）

2. 上記史資料のホームページでの公開

3. 女性団体・女性政策に関する情報収集・発信

4. 史資料や写真パネルなどの提供

①史資料・写真データ（30件）

*北陸朝日放送 ニュース番組

*朝日新聞社『朝日中高生新聞』

*小学館クリエイティブ『人生を切りひらいた女性たち 2巻』

*ハルメク『ハルメク』7月号

*ABS 秋田放送 和崎ハル特別番組「マザー」

*NHK ニュース解説 時論公論「参政権行使 70年 女性の政治参加を進めるには」

*イースト・エンタテインメント BS11「尾上松也の古地図で謎解き！につぼん探究」

*ベネッセコーポレーション 2016年度進研ゼミ小学講座『チャレンジ6年生』11月号

*大日本印刷 大同生命平成29年版カレンダー「広岡浅子を巡る人々」

*NHK サービスセンター 衆議院憲政記念館特別展「普通選挙をめざして」展示映像

*日本入試センター 2016年度サピックス小学部塾内教材『ウィンターサピックス5年生 社会』

*時蔵株式会社 NHKDVD 教材「授業で見る日本史」

*東京法令出版『ビジュアル歴史』『みつけよう?!歴史資料』『グラフィックワイド歴史』

*ドゥ・アーバン 東京都八王子市市民活動推進部男女共同参画課情報誌『ばれっと』37号

- *イースト・エンタテインメント NHKBS プレミアム「ザ・プロファイラー#9 ロックフェラー一族」
- *教文館 『日本キリスト教歴史大事典』第2版
- *東京都新宿区子ども家庭部 『ウイズ新宿 125号』
- *ドキュメンタリージャパン NHKBS プレミアム「英雄たちの選択（昭和の選択）」
- *中国新聞社 『中国新聞』2017年1月1日付
- *愛知県総務部 『愛知県史 通史編7 近代2』
- *創美社 大同生命小冊子『浅子の想いを胸に 広岡浅子と生きた人々』
- *山陰中央新報社 『山陰中央新報』2016年12月28日付
- *木村正人 ウェブニュースサイト <http://bylines.news.yahoo.co.jp/kimuramasato/>
- *童夢 岩崎書店『大研究！日本の歴史 人物図鑑 第5巻』
- *童夢 評論社『世界に感動をあたえた日本人 上巻』
- *NHK Eテレ「『歴史にドキリ』～平塚らいてう・田中正造～」
- *プランディット『2017～2018年度 2018進研[センター試験]直前演習 日本史B』
- *中国新聞社 『中国新聞』2017年3月11日付
- *汐文社 児童書『考えよう！女性活躍社会 これまでとこれから』
- *ベネッセコーポレーション 2017年度進研ゼミ 小学講座『ハイブリッドスタイル6年生・11月号』、2017年度進研ゼミ 小学講座『チャレンジタッチ6年生・11月号』

②写真パネル（2件）

- *はらんきょうの会（茨城）「日本の女性参政権のあゆみ展」
- *岡山県男女共同参画推進センター「日本の女性参政権のあゆみ」展

③DVD「婦選の話」（3件）

- *はらんきょうの会（茨城）*上記「あゆみ展」同時上映
- *新潟女性史クラブ
- *岐阜市女性センター

④現物（特別出展）（1件）

- *衆議院憲政記念館 平成28年特別展「普通選挙をめざして―犬養毅・尾崎行雄―」

⑤その他協力（2件・無料）

- *東京都渋谷区立代々木図書館 『代々木図書館新聞』
- *大阪府人権教育研究協議会 教職員対象の配布用資料

○常設展「市川房枝記念展示室」の公開

見学者 個人152人、グループ4件59人、計211人（有料分）

Ⅲ. 出版及び調査・研究事業（公益三 女性が民主的ガバナンスの積極的な担い手となるための出版及び調査・研究事業）

○出版事業

1. 隔月刊『女性展望』発行

1954年創刊の女性と広義の政治課題を中心とする専門情報誌。2014年度より増頁、表紙のカラー化など誌面を刷新し、月刊から隔月刊に変更。通巻第680-685号発行。2016年7-8月号より定期購読申込みと維持員加入申込み葉書の綴じ込みを始め、2017年3-4月号からは料金受取人払郵便扱いの適用とした。

2. 女性展望カフェ 『女性展望』読者や一般市民を対象に開催

- ①「日本と原発4年後」（2016.12.15 参加者28人）
映画上映と河合弘之弁護士（監督）の話
- ②「子守唄に見る女性の生き様、子どもへの愛」（2017.3.2 24人）
西館好子・NPO法人日本子守唄協会理事長

3. 『市川房枝の言説と活動 年表でたどる人権・平和・政治浄化1951-81』2016.7発行、A5判387P

4. 『全国組織女性団体名簿2016年版』2016年12月発行、A5判140P

全国的に会員を有し、継続的に活動を行っている 95 女性団体収載（一般 33、職能 17、女性を多数会員 11、連合体・連絡委員会 5、団体・労組女性部門 6、政党女性局 5、教育調査研究 18）

5. 『女性参政70周年記念 女性参政関係資料集』発行準備

6. その他、随時、女性と政治に関する単行本やハンドブックなどを発行

①報告書『2016 韓国スタディツアー 女性の政治参画と韓国社会・人権を学ぶ』2016. 10 発行、A4 判 32P

②『財団法人市川房枝記念会の 50 年一覚書、事業と人（仮題）』発行準備

○調査・研究事業

1. 女性の選挙権・被選挙権行使状況調査、女性地方議員の進出状況調査、女性と政治の国際比較情報調査

①「地方公共団体の議会の議員及び長の所属党派別人員調査等（2015. 12 末現在）」（総務省）から女性議員のデータをまとめ、『女性展望』2016 年 9-10 月号掲載

②「女性国会議員の国際比較（2016. 11. 1 現在）」（列国議会同盟〈IPU〉調査）をもとに詳しいランキングをまとめ、『女性展望』2017 年 1-2 月号掲載

2. 市川房枝研究

①『市川房枝の言説と活動 年表でたどる人権・平和・政治浄化 1951-81』編集作業。

（市川房枝研究会は、財団所蔵の史資料を駆使し、またヒアリングなどを通して市川房枝の活動の全体像を明らかにするため、2005 年発足。『年表で検証する公職追放 1937-50』（2008 年）、『年表でたどる婦人参政権運動 1893-1936』（2013 年）に続く 3 冊目。この完成により、研究会は 2016 年度末で解散。）

②『市川房枝の言説と活動』3 部作完成記念イベント（2016. 11. 25 参加者 34 人）

市川房枝研究会公開セミナー「私が伝えたい市川房枝」伊藤康子（主任研究員）・枝松 栄・国武雅子・久保公子・進藤久美子・鈴木尚子・水野真知子・八木博子・山口美代子・横澤清子／記念講演会「市川房枝に学び、女性の生き方を考える」中村桂子・JT 生命誌研究館館長、「出たい人より市川房枝」長沼節夫・元時事通信記者／記念パーティ

IV. 国内外組織連携及び支援事業（公益四 財団が女性の政治的エンパワーメントの総合的な資源として、国内及び国際社会との連携の拠点となり、目的を共有する女性組織・市民組織と連携し、女性が民主的ガバナンスの積極的な担い手となる活動を支援する事業）

○連携・支援事業

1. 事務所機能の支援

日本婦人有権者同盟（2016 年 3 月末解散。1 年間の残務処理期間後、2017 年 3 月末退去）、特定非営利活動法人日本 BPW 連合会に対して婦選会館 3 階の事務室を低賃料で賃貸し、また国連 NGO 国内女性委員会、国際婦人年連絡会、特定非営利活動法人国連ウイメン日本協会には連絡事務所として事務所機能を支援している。

2. 各界女性新年交歓会（2017. 1. 11 参加者 99 人）

新年恒例の事業。女性団体、行政、国会議員、ジャーナリストらが集い、料理を囲んだ交流の場を提供している。

3. その他の支援

『朝日中高生新聞』2016 年 5 月 1 日付「憲法の本質 先人に学ぶ」取材協力／『中日新聞』2016 年 11 月 6 日付サンデー版「大図解・女性の政治参画」取材協力／映画「未来を花束にして」鑑賞コメント寄稿／ヘレン・パンクハースト（英国エメリン・パンクハースト曾孫）来館対応／劇団青年座『見よ、飛行機の高く飛べるを』プログラム寄稿／同福島市講演会講師／日韓女性研究者の「東京都議会とソウル市議会の女性議員・政策の比較研究」調査協力

○支援事業（2016 年度〈第 34 回〉市川房枝女性の政治参画基金・公募）

公募期間：2016 年 7 月 1 日～8 月 31 日

助成対象：井上直子（一橋大学大学院博士後期課程）

助成内容：博士論文（戦前・戦中日本において女性団体や行政が女性参政権の問題をどう問うてきたかを検討し、現在も続く女性の政治参加をめぐる困難性や矛盾を歴史的に問う）執筆のための史資料調査を行う。

助成金：10万円（2016年11月18日、財団創立54周年記念維持員のつどいで贈呈）

選考委員＝山口みつ子・久保公子・日高みさお・藤原房子

V. 収益事業（収一）

1. 建物の賃貸事業（3階フロアー）

前年度に引き続き、婦選会館3階フロアーの4室を4件に賃貸している。

部屋番号	入居者名	契約面積	更新日	入居日
301	(株)アトリエ福	65.33 m ²	2015.7.30	2011.8.1
302	(株)青山IGC学院	28.92 m ²	2015.10.29	2011.11.1
303	特定非営利活動法人日本BPW連合会	28.60 m ²	2015.1.30	2009.2.1
304	日本婦人有権者同盟	48.49 m ²	—	2008.11.15*

*日本婦人有権者同盟は1962年開館以来賃貸してきたが、2008年全館休館による耐震補強・改修工事で一時的退去のため、再開後の入居日を記載。2016年3月末解散、2017年3月末退去。

2. 時間貸室

北澤クラス87 国際婦人年連絡会81 野間口クラス65 国松クラス64 谷岡クラス62 心の杜・クリニック40 山森クラス23 講座日本史22 国連NGO国内女性委員会12 認定NPO法人エンディングセンター・縫田自主ゼミ各11 クロスカルチャラルウィーメンズサークル・特定非営利活動法人日本BPW連合会・(株)ファミリーサポート各6 国連ウィメン日本協会・ベルテ代々木II管理組合各5 国際人権規約完全実施促進連絡会議・慈愛寮を支える会・CMCC各4 旭化成メディカル(株)・市民政治研究会・市民福祉情報オフィス・ハスカップ・ダグウッド・東京鷹桜同窓会各2 (株)アトリエ福・インターナショナルツアーアシスタント・「憲法」を愛する女性ネット・笹の葉の会・NPO法人Gender Action Platform・東海大学・東京家政大学・東京成徳大学・トクラス(株)・平塚らいてうの会各1

(合計538回。1日通して利用の場合は、2回(午前・午後各1回)とし、また同日、同一団体が複数の部屋を利用の場合、各部屋ごとに1回と数えた。)

3. コミュニティバザー（2016.11.17-18 延べ来場者約500人 無料）

寄付（維持員など個人65人、協賛企業17社。別紙報告書のとおり）、委託品（3社）、産直品（宮城、神奈川、長野、鹿児島）を近隣住民や会館利用者に廉価で提供し、交流を深めた。

4. 市川語録発信・グッズの制作販売

水彩絵葉書15種追加製作（原画提供日高みさお、各200枚、2016.4.15）

VI. その他本財団の目的を達成するために必要な事業

1. 維持員

①財団創立54周年記念維持員のつどい（2016.11.18 参加者20人 無料）

財団の近況報告／第34回市川房枝女性の政治参画基金の贈呈／財政状況報告／韓国スタディツアー報告／女性参政70周年記念事業報告

②ホームカミング（2017.1.16 参加者27人）

維持員、元講師生らが元講師6人を囲んで軽食・交流。終了後、透明水彩画の実技レッスン（講師：日高みさお）

③「婦選会館ニュース 2016年11月号・維持員のみなさまへ」発行（2016.11）

2. 会館の補修工事など

①1階多目的ホール 机キャスター交換（2016.5.23）

②3階男性用小便器 水洗センサー乾電池交換（2016.7）

③消防設備点検（2016.11.9）

- ④3階 301号室 コンセント増設・エアコン室外機交換 (2016. 11. 12)
- ⑤植栽定期剪定(2016. 11. 13)
- ⑥1階多目的ホール 天井照明 LED5 台新設 (2016. 12. 26)
- ⑦玄関 人感センサー新規更新 (2016. 12. 26)
- ⑧3階 301号室・多目的ホール 誘導灯器具 2カ所交換 (2016. 12. 26)
- ⑨地階 書架出入り口 アコーディオンカーテン取付 (2016. 12. 26)
- ⑩1階トイレ前洗面台 プラケットスイッチ取付 (2016. 12. 26)

事務局職員 (2017年3月31日現在)

事務局長 久保公子 (嘱託・常務理事兼務)

主任 清水容子 (常勤)

職員 今川淳子 杉森陽子 田中いづみ 張替信子 渋谷幸子 (以上非常勤)